

市町村名	与那国町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	海底景観資源調査事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-(ア) 観光リゾート産業の振興		
担当部課名	教育委員会	教育課	事業実施 年度	平成 29 ~ 令和 元 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	与那国を象徴する海底地形に対して、最先端のマルチビーム測深調査を実施し、観光資源として適切な活用及び保全、学術研究の基礎となる海底精密地形図を作成する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	11,700	15,500	10,920		38,120	
	B. 執行済額	11,700	15,500	10,920		38,120	
	うち 交付金充当額	9,360	12,400	8,736		30,496	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	当初計画のとおり委託を適正に執行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	○年度	○年度
	H30年度(前年度)調査範囲の測深データの処理。	目標		実施	実施		
		実績		実施	実施		
	完成した海底地形図を基にした現地調査。	目標			実施		
		実績			実施		
シンポジウム(与那国・福岡)の開催。	目標			実施			
	実績			実施			
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	○年度	○年度
	マルチビーム測深データ処理	目標		16.3平方km	30.4平方km		
		実績		16.3平方km	30.4平方km		
	海底地形図完成	目標			完成		
		実績			完成		
	目標						
	実績						

**事業完了後の取り組み**

成果目標(指標)		達成/進捗状況					
		R2年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	目標	3,100人				
	【R2成果目標】 作成した海底地形図を活用したグラスボートツアー等の参加者数3,100人	実績	1,000人				
	海底精密地形図を活用した調査研究	目標	実施				
		実績	実施				
状況説明	【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、団体、個人とも観光客が激減し、通常の成果検証が難しい状況である。海底精密地形図を活用し、沖縄県埋蔵文化財センターが錨、砲弾など水中文化遺産の調査を実施、九州大学浅海底フロンティアセンターが通称・海底遺跡と呼ばれる一帯で、平面図や3次元図の作成、撮影を実施した。  【 年度】 ・  【 年度】 ・						
<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)				
【R2年度】 ・浅海底フロンティアセンターは「海と島の可能性を生かす研究会」を立ち上げ、与那国町の海底景観資源を観光などに生かしていく策を連携して協議していくことになった。  【 年度】 ・  【 年度】 ・			【R2年度】 ・海底観光をさらに発展させていくため、錨などの水中遺産は、正確な場所が分かるように地図上にマッピングする必要がある。科学的に解明されたポイントについては、ガイドマップを作成し、水中ジオツアーなど新たなダイビングメニューを開発する必要がある。  【 年度】 ・  【 年度】 ・				
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R2年度】 ・観光については一時的に難しいところもあるが、今後を見据えて、海底精密地形図を活用した調査研究を推進し、新たな観光メニューの開発を進める。新型コロナウイルス収束後は、それらのメニューを周知し、観光誘客に取り組む。  【 年度】 ・  【 年度】 ・							

市町村名		与那国町				
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	与那国町デマンド交通運行事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-(ウ) 離島定住条件基盤整備	
担当部課名	企画財政課	事業実施 年度	令和 元 年	~ 令和 元 年	事業年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-9-(1)
事業内容	継続可能で安定した公共交通網の整備を目的として、ICTを活用した新たなデマンド交通の試行運行を実施する。 今年度は、AI運行システムによるデマンドバスの試行運行を行い、その結果を多面的に評価し次年度以降の本格導入検討作業に繋げる。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	○年度	○年度	○年度	合計
	A. 予算現額	29,445				29,445
	B. 執行済額	27,516				27,516
	うち 交付金充当額	22,012				22,012
	執行率(%) (B/A)	93.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	93.4%
執行状況の説明	当初計画のとおり委託を適正に執行した。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			R1年度	○年度	○年度	○年度
	与那国町デマンド交通試行運行の実施	目標	実施			
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			R1年度	○年度	○年度	○年度
	与那国町デマンド交通試行運行評価書の完成	目標	1式			
		実績	1式			

**事業完了後の取り組み**

成果目標(指標)		達成/進捗状況				
		R2年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					
	<b>【R2成果目標】</b> デマンド交通試行運行の結果等を踏まえ、町における公共交通の目標利用者数を設定し、離島地域における持続可能で利便性の高い公共交通導入に向けた取組の確実な実施。	目標	実施			
		実績	未実施			
		目標				
		実績				
状況説明	【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和元年度に行った実証実験に対する検証会などが開催できない状況である。  【 年度】 ・  【 年度】 ・					
<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)		<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)				
【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和元年度に行った実証実験に対する検証会などが開催できない状況である。  【 年度】 ・  【 年度】 ・		【R3年度以降】 ・実施できていない検証会を早期に開催し、デマンド交通の効果検証を実施する。  【 年度】 ・  【 年度】 ・				
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R3年度以降】 ・デマンド交通実証実験の結果を基に既存の公共交通を含めた本町の公共交通サービスの充実を図り、住民及び観光客の島内交通に係る利便性確保に努める。  【 年度】 ・  【 年度】 ・						